

前住職 釋俊雄 十三回会法要のご案内

明二〇〇四（平成十六）年一月廿一日は、西教寺前住職釋俊雄（岩崎俊雄・院号会中院）の十三回会に当たります。つきましては、ご法中のご参加をいただき左記の通り一座法要を営みたく存じます。西教寺門信徒、有縁の皆さま、お誘いあわせの上お参りいただきますよう、お願いご案内申します。

尚、ご存知の通り目下長ノ木本坊は本堂修復中ですので、今回の法事は蔵本通支坊本堂にて営ませていただきます。

- 一、とき 二〇〇四（平成十六）年 一月二十一日（水）午前九時より
- 一、場所 蔵本通支坊本堂

合 掌

西教寺住職 岩崎 正衛

ティータイムごぼれ話



「三人よれば文殊の智慧」。蓮如さんも「なにごとくも談合すれば面白きことあるぞ」とおっしゃっています。長ノ木本坊で毎月の法座の昼席に行われているティータイム、十月は約四〇名の参加者でした。次世代におみりを伝えるにはどうしたらよいか、お茶を飲みながらいろいろな話が聞けました。

「同居の方」「美味しいものを仏壇にお供えするようにすると、家族が仏さまに近づく縁が増えました。」

「若い世代」「若い人だってお寺参りの時間を作ろうと思えば作れる。若い人も悩んでいる、遠慮せず声をかけて。」

「家族の縁がなかった方」「近所の立ち話やご近所の方（近所姑というらしい）が、今日のお話はよかったわよ、内容もやさしくて誰にでも分かる話よ、あなたも行ってみたら」と事ある



いちよう冥加金三万円
おきく冥加金二万円
お寺にご相談ください

たびにお誘いくださったのがよかったです。」

「子供と別居の方」まずは形がないと「本山で制定された小型の仏壇（いちよう・きく）ならお迎えしやすい」また、「お盆に帰ってきてただ手を合わせるだけではだめ、子供の仕事が休みの時に帰らせて報恩講の縁にあわせようと思う。ご院（住職）さん参つてくれますか？」住職「いつでも参ります。」また、「とにかくいろんな形でご縁を増やすことが大切」「家族が自然に手が合わさるような生活を、まずは私たちが自身が身をもっていなくてはいけません。なるほどという意見がだされました。」

秋涼し
小さき仏壇
据ゑてより
畝

加奈子

